



あなたのお悩み コミュニティソーシャルワーカーに 相談しませんか。

☎ 守口市社会福祉協議会 TEL 06-6992-2715

皆さん、コミュニティソーシャルワーカー（CSW）という言葉はご存じでしょうか。
CSWとは、地域で援助を必要としている高齢者や障がいのある人などにケースワーク（精神的・肉体的・社会的な生活上の問題を抱える個人や家族に個別的に接し、問題を解決できるように援助する）を行う専門職です。
公的な福祉サービスだけでは対応できない生活課題も増えてきている中、制度のはざままで支援を必要としている人たちに対して、その人に適したさまざまな福祉サービスなどを利用できるよう、寄り添いながら支援する役割を担っています。
具体的には、支援が必要な人に対しての安否確認や見守り、生活課題の発見、相談援助、必要な福祉サービスや専門機関へのつなぐ役割などを行っています。

なぜ「相談」が大事か

近年、生活環境の変化や近隣住民との関係が希薄化していることで、課題を解決することが難しくなっている中、それぞれにさまざまな悩みごとや困りごとがあっても、いったいどの誰に相談したらよいのかわからないことや、相談したくても「恥ずかしい」「初対面の人に話すのは不安」「うまく説明できない」などで、相談をためらうこともあります。
しかし、誰にも相談できないと、いつまでも問題解決の糸口が見つからずに不安や心配ごとを抱え込み体調を崩してしまうかもしれません。
そんな時は、CSWに相談してください。相談内容などの秘密はお守りしますので安心して利用してください。相談窓口に来られない場合は、電話相談や訪問相談なども行っています。

相談の多い悩み（令和2年度）

- 1位 新型コロナウイルス感染症の影響による生活費の相談
- 2位 家賃の滞納による立ち退きに関する相談
- 3位 医療や介護サービスの利用方法に関する相談

どこで相談できるの？



守口市役所7階社会福祉協議会



守口市いきいきネット相談支援センター



各コミュニティセンター



いきいきネット相談支援センターなど各種窓口で相談受付しています（詳しくは23ページをご覧ください）。

まずは電話で相談を



CSW 近藤和明氏

どうしたらよいか分からずに困っている人、誰にも言えないで悩んでいる人、あきらめてしまっている人、人に迷惑をかけてはいけないと思っている人、勇気が必要かもしれませんが、少し肩の荷を下ろしませんか。
私たちCSWは、日常生活の中で不安や悩みを抱えたり、困りごとをお持ちの人たちが住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、寄り添いながら支援する伴走型支援を行っています。生活費のこと、家族のことなど、生活の中での困りごとや不安に思うこと、どこに相談したらいいのかわからないとき、まずはCSWにご相談ください。解決に向けて一緒に考えましょう。

こんな問題にも対応できます

ケース1

【1人暮らしの高齢者の金銭管理】

配偶者と死別し、家計の管理をすべて任せていたため、何から手続きをしたらよいか分からないので困っている。

【対応】

社会福祉協議会で相談を受け、電気やガス、水道など公共料金の契約者の名義変更や支払い口座の変更が必要であることが分かった。頼れる身内もないことから、後日自宅を訪問し、本人と一緒に電力会社やガス会社に連絡をし、必要な手続きを行った。

ケース2

【引きこもりの事例】

母親と2人暮らしだった50代男性が、母親が亡くなり1人暮らしとなり、他県の親戚から「引きこもっているため、生活に必要な手続きなどができていないので心配である」と相談があった。

【対応】

親戚と一緒に保健所に相談し、民生委員や近隣の方々の協力を得て地域での見守りが行えるように働きかけを行った。
本人とお会いしても、公的なサービスの利用などは希望されなかったが、近所の方々も心配しており、気にかかることがあればCSWに連絡を入れていただき、また様子の確認や信頼関係ができるように適宜自宅を訪問している。

ケース3

【荒廃住宅で生活するケース】

同居の家族が亡くなり、精神障がいのある人が1人暮らしになった。思うように片づけができない、荷物が多いだけでなく、床や壁が破損しており、とても安全に暮らせるような住環境ではなかった。

【対応】

本人から住宅の改修や不用品の処分の相談があったため、支援者と一緒に訪問し状況を確認。
本人の意向、住環境や健康状態、経済状況など総合的に判断するために、関係者で集まり、支援の方向性の整理を行った。その結果グループホームが利用できることが分かり、本人に提案したところ、入居を希望された。